

所属・資格 心理学科・教授

申請者氏名 津川 律子

研究課題		対人援助職における倫理・法律と連携・協働
報告の概要	研究目的 および 研究概要	対人援助職における倫理・法律はその重要性が増すばかりであるが、それと連動して多職種による連携・協働の必要性が指摘されることが増えている。実際の臨床実践場面で倫理・法律と連携・協働にまつわる課題を整理し、今後のあり方について論じることを本研究の目的とする。
	研究の結果	下記のように著作を1本、専門論文を1本、発表した。著作は大学院の授業でも使用したものである。専門論文の掲載先は、臨床心理学者のみならず精神科医の多くも読者対象となっている雑誌である。
	研究の考察・反省	公認心理師法に対応ないし関連した専門論文・専門著作を出す必要がある。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴光代・津川律子（2018）：シナリオで学ぶ心理専門職の連携・協働—領域別にみる多職種との業務の実際。誠信書房。（共編著） ・狩野武道・津川律子（2019）：日本における公認心理師の役割と課題。こころと文化 第18巻第1号，8-16.